

平成31年3月定例会

一般質問通告書

久喜宮代衛生組合議会

組合に対する質問【平成31年3月4日（月）】

一般質問通告	第1号
質問者	渡辺 昌代 議員

（質問事項）

1. し尿処理施設の統合についての久喜宮代衛生組合の考え方について

（質問の要旨）

し尿処理施設の統廃合が進められている。久喜市では「久喜市し尿処理施設整備基本構想（案）」が策定され、パブリックコメントがされた。今後、基本計画が進められると考えるが、これらについて久喜宮代衛生組合の考えを伺う。

- （1）「し尿処理施設整備基本構想」では久喜宮代衛生組合職員がどれだけ会議に関わり意見を述べてきたか伺う。その際、最も気をつけてきた点はなにか。
- （2）「し尿処理施設整備基本構想」では4つのケースが上げられているが、これらについて衛生組合ではどのように考えているか伺う。
- （3）これまでし尿処理に関わってきた当事者として、今後、統合した場合の処理量、処理施設の規模、周辺地域の環境、処理方式、汚泥処理などの課題はどう考えているか。特に、最終処理水は河川に放流されることになるが、塩分については統合すれば多くなるのではないか。放流水域の地域に影響は無いのか伺う。

（質問事項）

2. プラスチックゴミ、ペットボトル資源について伺う

（質問の要旨）

これまでプラスチックゴミ、ペットボトルについては、容器包装リサイクル法に基づくリサイクル、原材料として再利用する独自ルート、容器包装でないものについては委託で焼却処理と聞いてきたが、それらについて伺う。

- （1）それぞれ最終処理をしている企業がどこか伺う。
- （2）昨年、中国政府によるプラスチックごみの輸入禁止政策により、7割以上を中国に送っていた日本は大きな影響を受けた。昨年の議会では、久喜宮代衛生組合の場合は、国内の企業への取引なので影響はないという答弁であったが、飽和状態のごみをどこの工場でも「引き取って欲しい」という希望が急増している現状であると聞く。今後の影響はないのか伺う。
- （3）質の良いプラスチックゴミ、ペットボトルゴミを増やすための対策について

てどう考えているのか伺う。

(4) 宮城県では事業を拡大、研究開発し、新たなリサイクル技術を開発し、より多くのプラスチックを受け入れる企業に補助金を出している。埼玉県では、そのような動き、新たな政策は無いのか伺う。

(5) 久喜宮代衛生組合として、これまで取り組んできたリサイクルだけではなく、リユース、リペアについての具体的施策は。今後をどう取り組むのか伺う。

一般質問通告	第2号
質問者	猪股 和雄 議員

(質問事項)

1. 昨年10月の衛生組合議会会議録がいまだに(2月17日現在)衛生組合ホームページに掲載されていない。

(質問の要旨)

(1) 3月定例会(3月27日閉会)の会議録は7月6日にアップされたが、10月定例会(10月23日閉会)が遅れているのはなぜか。

(2) 業者への委託、録音物の提供、会議録としての整備、校正、納品等の経過を明らかにされたい。

(3) 会議録は、遅くとも2~3か月以内にはアップするべきであると考えているが、できていない理由を説明されたい。これほどに遅いのは、事務手続きの問題か、契約の問題か、費用の問題か。

(質問事項)

2. 久喜市および宮代町のし尿処理施設整備計画の方向性を説明されたい。

(質問の要旨)

(1) 久喜市の「し尿処理施設基本構想(案)」によると、久喜市と宮代町のし尿を八甫センターで処理する方法が最も優れた整備方針とされた。

これまでの説明でも、久喜市と宮代町のし尿処理を、菖蒲地区も含めて八甫清掃センターに統合する計画で、そのための施設整備は衛生組合で行っていくと理解している。八甫地区周辺住民への説明もその方針に基づいている。衛生組合として、この計画に基づいて推進していると理解してよいか。

(2) 八甫のし尿処理施設の延命改修、施設整備は、衛生組合で進めるということでよいか。

(3) 久喜市との役割分担、施設整備計画とスケジュール、財政計画を明らかにされたい。

(4) 地元説明会・協議の状況と今後の進め方を明らかにされたい。

(質問事項)

3. 資源集団回収実証実験の10月以降の取り組み状況を明らかにされたい。

(質問の要旨)

(1) ステーション方式の5地区、拠点方式の4地区について、それぞれの地域における住民の参加、地区別、品目ごとの回収実績、報償金の第3期申請額積算と交付額、登録業者の補助金の申請額と交付額の状況等を明らかにされたい。一覧表で示されたい。

(2) これまでの実績と成果をどう評価しているか、問題点等があるか、今後の見通しをどうとらえているか、明らかにされたい。

(3) 「衛生組合だより」2月号に、『資源集団回収を始めてみませんか』の記事が掲載されたが、問い合わせに対して、実証実験への参加を呼びかける考えはあるか。

(質問事項)

4. 久喜市で「災害廃棄物処理計画(案)」のパブコメを行っている。復旧過程で廃棄物処理を行っていく衛生組合の処理施設の状況を明らかにされたい。

(質問の要旨)

(1) 衛生組合の3清掃センターの焼却炉、し尿処理施設は耐震化については「一般廃棄物処理施設の建築物等においては震度7相当に耐えるものとして設計」されているが、「設備、機器の損壊防止策」の項で「震災時には配管等の損壊が懸念されることから、施設内機器の点検を行い、損壊対策を実施する」とされている。現状はどうなっているか。

(2) 水害防止対策(浸水対策)では、特に利根川の水害時に、3センターとも浸水地域に入っているが、災害復旧時に支障となる恐れがあると考えられるが、状況把握と認識を明らかにされたい。

(案)では「現在稼働している久喜宮代清掃センター、菖蒲清掃センター及び八甫清掃センターにおいて、浸水対策を講じるのは難しいが、今後整備する新たなごみ処理施設では、本市の洪水ハザードマップ等により被害の有無を想定して、重要機器が想定浸水レベル以下に配置する場合は浸水対策を行う」となっている。

(質問事項)

5. 生ごみ減容化・堆肥化事業を、3月末で廃止する理由の大義名分が立たない上、あまりに唐突であり、市民への説明責任も果たしていない。管理者の答弁を求める。

(質問の要旨)

- (1) 減容化・堆肥化モデル地区の区長だけのアンケートで廃止の判断材料としたが、これまで永年協力していただいていた住民の意見をていねいに聞き、理解を得る努力をすべきであったと考えるが、見解を問う。
- (2) 区長のアンケート結果は、既定方針通り34年度まで継続するという回答が多かった。アンケートをとるといのは市民の意見を尊重するために行うものだが、それを無視して判断したことについて、見解を問う。
- (3) 10月の議会への説明の際に用いたアンケート結果の分析は、今年度でやめるべきと答えた区長の地区の住民がすべて生ごみ減容化・堆肥化に協力しないという、乱暴な結論を導き出したものであった。アンケート結果の恣意的なねじ曲げは、衛生組合だけでなく、久喜市の行政による市民参加にも懸念を生むものである。このようなアンケート結果の勝手な解釈は間違っていたと認めるか。
- (4) 管理者は、「少しでも長く続けたいという思い」もあったが、「堆肥化設備の老朽化により、いつ大きな故障が発生してもおかしくない」と説明しているが、「堆肥化設備の老朽化により」どのような「大きな事故が発生」することが想定されたか。
- (5) 「施設の更新工事には約1億円が見込まれている」と説明しているが、3年後の廃止までにそのような施設の更新工事が必要であるとした根拠、どのような機器の更新費用が必要で、1億円と見積もった根拠を説明されたい。

一般質問通告	第3号
質問者	斉藤 広子 議員

(質問事項)

1. スプレー缶・カセットボンベ・ライター出し方

(質問の要旨)

2018年12月16日札幌市で起きた爆発事故で、現場の建物に入居する不動産仲介業の店舗の従業員が「消臭剤のスプレー缶100本以上を廃棄するために穴を開け、湯沸かし器をつけたら爆発が起きたとの事故がありました。

以前もカセットボンベが爆発して清掃車両が燃える事故など、大事故に繋がる。注意喚起を徹底すべきと思い、以下質問する。

- (1) 久喜宮代衛生組合では、「穴はあけず中身を使いきる」とあるが、周知の仕方がわかりづらい、安全・安心の為に もっと解りやすい周知をすべきと思うが如何か。
- (2) 正しい知識を紹介するためにスプレー缶の場合、外部リンクとして「一般社団法人日本エアゾール協会ホームページ」やカセットボンベの場合「一般社団法人日本ガス石油機器工業会ホームページ」を活用できないのか。
- (3) 大きな事故が起きた時、再発防止の為に、市民が関心を持った時を、みのがさずに注意喚起をすべきと思うが如何か。

(質問事項)

2. 食品ロス対策の現状と課題

(質問の要旨)

- (1) 昨年12月に国立国会図書館の調査シリーズで【SDGS の削減目標を踏まえ、2018（平成30）年6月に閣議決定された「第四次循環型社会形成推進基本計画」では、家庭から発生する食品ロスを2030（平成42）年度までに半減させる（2000年度比）とする数値目標が初めて設定された。家庭からの食品ロスは、2000（平成12）年度から2015（平成27）年度までの期間で、433万トンから289万トンまで減少している。目標を達成するには、さらに72万5000トンの削減が必要となる。なお、事業者から発生する食品ロスについては、食品リサイクル法に基づく基本方針において、今後目標を設定することとされている。】とあるが、今後食品ロス問題は、久喜宮代衛生組合と久喜市、宮代町と目標達成にむけて取り組んでいかななくては、いけないが今後どのように協力体制を組んで行くのか伺う。
- (2) 市民への食品ロスの運動として「30・10運動」として宴会の最初の30分、最後の10分皆で食べる時間を設けるなどの運動や「3きり運動（使いきり・食べきり・水きり）」の推進などポスターやのぼり、公共施設や飲食店にも協力を頂き取り組んで行くべきと思うが如何か。

一般質問通告	第4号
質問者	丸山 妙子 議員

(質問事項)

1. ごみ集積所環境整備補助制度について

(質問の要旨)

ごみ集積所環境整備補助制度の導入の周知をはかってきたが、その効果について伺う。

- (1) 利用状況、新規の申請は増加しているか。
- (2) 申請者の項目に、「廃棄物減量推進員、区長、自治会長またはごみ集積所利用者の代表者」とある。補助のため、自治会費からの支出が必ず生ずるため、区長や班長などに相談すると、申請までに時間と手間がかかる。申請しやすいよう、簡略化できないか。
- (3) ごみ集積所に金属性のものが設置されている地域がある。集積所の敷地が確保できる集積所は、衛生的であり導入したいとの要望がある。資料によると金額が高い。一部補助できないか。

(質問事項)

2. ごみ集積所について

(質問の要旨)

今後のごみ集積所のあり方に関し、以下の点について伺う。

- (1) 住宅密集地では、ごみ集積所が狭い道路に隣接又は十字路などに設置され、交通の妨げになっている。カラスなどの散乱被害除けのネットや置石など道路の一部を占めており、危険でもある。この現状をどう考えて対処するのか。
- (2) ごみ集積所一か所当たりの軒数や今後の解決策について
 - ア 高齢になり集積所まで遠い、県道など交通量が多く、ごみ出しの時間が朝のラッシュと重なりなかなか渡れない、危ないとの声をよく聞く。
ご近所数軒で自宅敷地の一角を集積所に行している集積所もあり、他からの不分別のごみの混入を防げるなど利点がある。集積所の敷地の確保が難しい中、「ご近所さん集積所」のメリットは大きいと考えるがいかがか。

一般質問通告	第5号
質問者	大橋 きよみ 議員

下記の事項に関して一般質問を行いたいので、この旨を通告いたします。

(質問事項)

1. 布・衣類のごみの出し方について

(質問の要旨)

現在の布・衣類の出し方は、資源リサイクルの日（月2回）に、布・衣類を全部まとめてひもでしばり出すように書かれているが、一人暮らしの高齢者の方や、子育て中の方が、一枚ずつ畳んで柔らかい布を ひもで結ぶのは大変だと聞く。

雨天の場合は、次の回収日を利用するように書かれているが、カッコ書きで、雨の日に出す場合は濡れないように45ℓの透明袋に入れて出すよう書かれている。ならば、「できるだけひもでしばる。透明袋も可」とすべきと思うが如何か。

(質問事項)

2. 粗大ゴミについて

(質問の要旨)

久喜市では粗大ゴミ1点につき粗大ゴミ処理券1枚500円が必要である。

粗大ゴミを自分で搬入する際も、重量での支払いではなく粗大ゴミ処理券（500円）が必要だが、近隣地域の現状を聞くと自分で搬入する際は、10キロ130円にしている地域もある。

近隣地域との格差をなくすためにも、検討をして頂きたいと思うが如何か。